

第1回 こども安全対策分科会会議録	
日 時	令和元年9月18日（水）午前10時10分から11時55分
開催場所	栄区役所本館4階2号会議室
出席者	片岡、塚本、渡邊、山下、佐藤、角野、澤井、白水、藤森（敬称略） 事務局：大谷地、久保田、佐藤
議 題	1 あいさつ 2 議事 （1）自己紹介 （2）分科会の取組について （3）KYT（危険予知トレーニング）ミニ体験 （4）意見交換・情報共有
議 事	<p>&lt;議事及び報告&gt;</p> <p>(1) 自己紹介 KYTの講師として、子ども会連絡協議会副会長の塚本さんにお越しいただいた。</p> <p>(2) 分科会の取組について 主な取組項目は3つ。小学生の事故予防のためのKYTについて、今年度は保育園、幼稚園の年長児に拡大していきたいと説明。</p> <p>(3) KYT（危険予知トレーニング）ミニ体験 通常2時間のところを1時間に短縮して実施。2グループに分かれ、KYTの4ステップを体験。（下記の意見交換で集約）</p> <p>&lt;意見交換&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相手の意見を否定しない“ブレインストーミング”という手法はとても素晴らしい。間違っただけを言っただけではいけないと思うと意見が言えなくなってしまうが、自分の意見を（否定されずに）発することができる機会を小さい頃から与えられることはとてもよい。加えて危険予知について想像力を働かせていくということが良い経験になると思う。</li> <li>文章ではなく、イラストを使うところが良い。子どもたちが気づきやすいし、意見交換がスムーズになる。</li> <li>昨年分科会に参加しているが、KYT体験は初めて。様々な意見が出て、自分では気づけなかったこともあり、とても貴重な体験だった。子どもたちの反応を見てみたいので、ぜひ園でも取り組んでみたいと思った。</li> <li>小学校で「自分の身は自分で守りなさい」と指導している。このKYTはイラストを用いるので、自分だったらどうだろう…と考えられるところが良い。「気をつけなさい」と教員が言ったところで効果は薄いですが、自分自身で考えたり気づいたりすることで、子どもの中に危険予知の感覚が浸透していくと思う。</li> <li>お互いに意見を出し合って楽しく進められた。会議当初の硬い雰囲気も一気に和んだ気がする。</li> <li>他でも実施したが、子どもたちは間違い探しのゲーム感覚で取り組んでいる。我々大人の想像を超える意見が多数出て、子どもたちの感性の豊かさに感心するばかり。</li> </ul>
資 料	1 委員名簿 2 こども安全対策分科会の取組 3 子ども会KYTについて 4 危険予知トレーニング集 5 パンフレット等（乳幼児事故予防、セーフコミュニティフォーラム等） 6 各種アンケート結果（乳幼児、小学生、中学生）